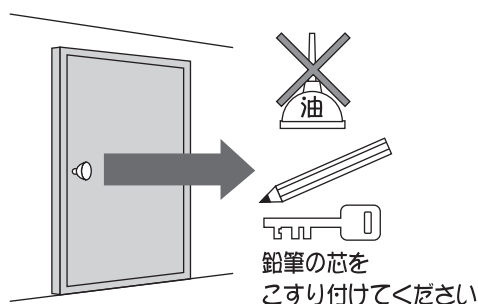


快適な暮らしをしていただくために…

巻末の「どうしよう こんなとき」府営住宅ガイドブックもご覧ください。

玄関

- 玄関錠(シリンダー錠)は精密な構造になっていますので、ていねいに取り扱ってください。
- カギは、住宅とともにお貸ししたものです。みなさんにお貸ししたカギ以外に合カギはありませんので、紛失しないようにしてください。
- カギやカギ穴には、絶対に油を使用しないでください。カギが入りにくいときは、そのカギに鉛筆の芯をこすり付けると滑らかになります。



- ドアスコープ(のぞき窓)、ドアチェーンは十分活用して、防犯に心がけてください。
- 玄関土間は防水していません。打水等の水の使用はさけてください。

ベランダ(バルコニー)

- ベランダは緊急時の避難通路になります。風呂および物置などを置いてはいけません。このことは消防署からも強く指導されています。
- ベランダは簡易な防水しかしていませんので、みだりに水を流すと階下にしみ出したりします。また、排水口はよく掃除してください。



ご注意ください



手すりのそばに箱などの物を置くと、子供たちが上って危険です。また、植木鉢なども手すりの上に並べたり、外に吊ると危険ですのでやめてください。

台所

【ステンレス流し台】

清潔で耐久力のある流し台ですが、汚れは粉石けんや洗剤で洗ってください。

- 金属製のタワシなどは傷がつきやすいので使用しないでください。



【台所の換気】

台所は熱気や煙がこもりやすいところです。換気扇・レンジフードなどを使用するか、または窓の開閉によって換気してください。

- 熱気がこもると結露の原因になります。

【排水のご注意】

(「どうしよう こんなとき」府営住宅ガイドブック(57ページ)をご覧ください。)

浴室

防水パン使用の浴室は、床と壁のすき間にコーキング材を充てんし防水をしていますが、デリケートなものですから掃除のときは硬いものでこすらず、ていねいに使ってください。

- 洗濯機の排水を、浴室内へ排水する場合は、洗面所などに水をこぼさないよう特に注意してください。
- 排水目皿の掃除をしてから、浴槽の排水をしてください。目皿がつかまっていると、たき口や他の部屋に水があふれ出る場合があります。
- 浴室は湿気の発生場所ですので、換気には気をつけましょう。換気が不十分ですと、壁や天井についた水滴からカビが発生して汚れます。

ご注意ください



防水パン部分のコーキング材などが、万一破損したときは担当の管理センターに連絡してください。不注意による漏水で被害を与えた場合は、損害賠償していただきます。

便所等

【ロータンクとフラッシュバルブ】

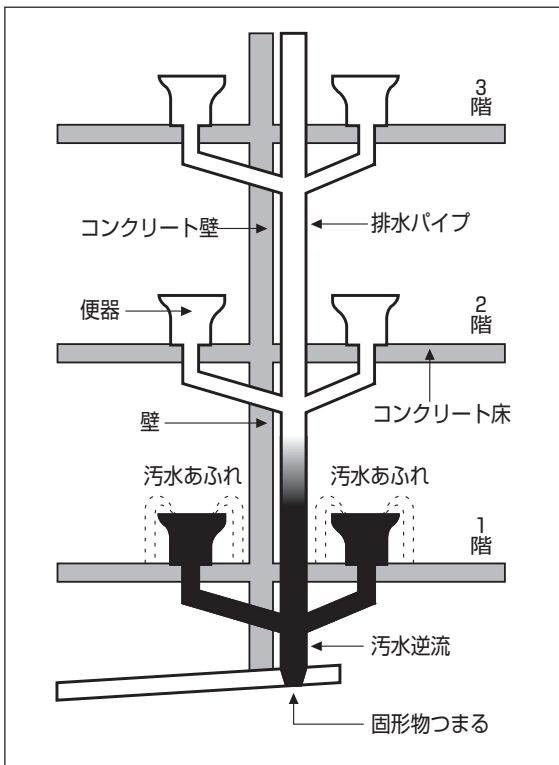
(「どうしよう こんなとき」府営住宅ガイドブック(55ページ)をご覧ください。)

【便所の掃除】

- 便所の床は、防水していませんので水を流さないようにしてください。
- 便器、手洗器の掃除は、洗剤を使って洗ってください。
- 掃除のために、塩酸などの薬品を使うと、浄化槽が傷みますのでやめてください。

【汚水管のつまり】

- 必ず、専用紙をお使いください。
便器に綿やゴム製品などを流すと、その住戸の便所には影響がなくても、他の住戸の便所へ汚物が逆流することがあります。大変迷惑をかけますので、絶対にしないでください。このようなことがおこらないためにも、定期的に汚水管の清掃を行ってください。
(清掃は入居者負担です)



【雑排水管のつまり】

- 汚水管と同様に排水管に油などを流すと、詰まる原因となります。定期的な排水管の清掃を行ってください。

結露

ガス・石油ストーブを使用したときや、梅雨など湿度の高いときに、室内の空気中の水蒸気が冷たい壁や天井などに水滴となって付着することがあります。これを結露といいます。結露をそのままにしておくと、壁、天井にカビが発生し、家具・畳などが腐りやすくなります。

【予防方法】

1.換気

- 室内の換気を十分にしておき、湿気を少なくしましょう。
- 換気用の小窓や換気孔は、いつも十分に開けておいてください。
- 天気のよい日には空気を入れ換えをしましょう。
- 家具類は、壁から少し離して置きましょう。
- 押入は、昼間できるだけ開け放しておきましょう。
- 押入に寝具類を入れるときは、直接入れずにまわりの壁、床に新聞紙、ダンボールなどを敷き、その上に「スノコ」を置いて、まわりの壁からできるだけ離して入れましょう。

2.暖房

- 暖房は、あまり高温にしないでください。
- ガスストーブや石油ストーブより、水蒸気の少ない電気ストーブ、パネルヒーター等が効果的です。

【発生したら】

- 壁がぬれてきた場合は、乾いたタオル等で拭いてください。そのままにしておくと壁の汚れやカビの発生の原因になります。
- カビが発生した場合は、その部分の換気をよくして、乾燥させ、ブラシなどでていねいに除去してください。

ダニ等の室内害虫

ダニ等の室内害虫の駆除は、入居者負担になっていますので、くれぐれも予防に心がけてください。

【予防方法】

- 畳の上のカーペット等の敷物は、ダニ等の発生原因になりやすいので、こまめに掃除をし、ときどき畳やカーペットを干しましょう。
- 室内の換気に注意し、常に湿度を低くするようにしましょう。

【発生したら】

- 畳の清掃をていねいにする。
- 畳やふとん、敷物の天日乾燥をする。畳は室内に立てかけ風を当てるだけでも効果があります。
- 殺虫剤処理を行う。畳の裏側にフェニトロチオン系油剤などを噴霧してください。
- 各住戸単位での駆除では効果があまりないので、棟単位、団地単位で定期的な駆除・予防をしましょう。